



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日

上場会社名 株式会社三社電機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6882 URL http://www.sansha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 元
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 部長 (氏名) 丸山 博之 TEL 06-6321-0321
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,887	0.6	139	△74.8	115	△79.6	70	△82.0
2019年3月期第1四半期	5,852	9.0	553	195.5	565	180.9	390	251.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △86百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 405百万円 (543.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	4.96	—
2019年3月期第1四半期	26.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	27,559	19,634	71.2	1,388.29
2019年3月期	28,532	19,952	69.9	1,410.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,634百万円 2019年3月期 19,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	8.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 当社は定款において3月31日又は9月30日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	12,000	1.8	400	△53.1	350	△58.1	280	△58.3	19.80
通期	24,500	0.5	1,200	△34.6	1,150	△36.3	850	△36.5	60.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	14,950,000株	2019年3月期	14,950,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	807,122株	2019年3月期	807,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	14,142,879株	2019年3月期1Q	14,492,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

(2) 2020年3月期の期末配当予想については、現時点で未定のため開示しておりません。配当予想を決定しましたら速やかに開示します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、昨年度より続いている米中貿易の緊張状態については6月のG20大阪サミットの期間中に開催された米中首脳会談でさらなる悪化には一旦歯止めがかかったものの、依然として先行きへの不透明感が続いております。中国の景気減速が顕著となっており、世界各地域へ波及する様相を呈しております。

国内においては企業業績に減速感が見えるとともに、10月に予定されている消費税増税の影響が、懸念される状況となっております。当社の事業に影響する設備投資については、企業の年度ベースの設備投資計画は上向きを表していますが、先行きの不透明感により、足元の動きは慎重となっております。このような状況のなか、当社の第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は58億8千7百万円(前年同期比0.6%増加)、営業利益は1億3千9百万円(前年同期比74.8%減少)、経常利益は1億1千5百万円(前年同期比79.6%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7千万円(前年同期比82.0%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(a) 半導体事業

当事業におきましては、米中貿易摩擦の影響により、工作機械メーカーの在庫調整が顕著となり、前期の牽引役となっていたFA機器向けモジュールが大幅に落ち込み、また前期好調であった商用エアコン向けモジュールも安価な中国製品への乗り換えが進むなどにより減少しました。この結果、売上高は15億9千万円(前年同期比6.0%減少)、セグメント利益は、減収に加え製品構成の変化による収益性の悪化から、4百万円の損失(前年同四半期は2億1百万円の利益)となりました。

(b) 電源機器事業

当事業におきましては、前期よりの継続案件であった銅箔生成用電源や電解コンデンサ用アルミ箔のエッチング用電源の販売が実現したことから、売上高は42億9千6百万円(前年同期比3.3%増加)と増収となりました。しかしながら、セグメント利益は採算の厳しい大型案件が多かったことに加えて、収益性の高い金属表面処理用電源の販売が伸び悩んだことなど製品構成の変化の影響が大きく、1億4千4百万円(前年同期比59.0%減少)と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度に比べ9億7千2百万円減少し、275億5千9百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億5千3百万円、受取手形及び売掛金が2億4百万円、仕掛品が3億4百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度に比べ6億5千4百万円減少し、79億2千5百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億3千9百万円、賞与引当金が2億9千4百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度に比べ3億1千7百万円減少し、196億3千4百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億6千1百万円、為替換算調整勘定が1億3千5百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月8日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日(2019年7月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,963	5,609
受取手形及び売掛金	6,383	6,178
電子記録債権	1,636	1,483
商品及び製品	3,308	3,521
仕掛品	1,468	1,163
原材料及び貯蔵品	1,792	1,726
その他	358	305
貸倒引当金	△43	△37
流動資産合計	20,866	19,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,484	2,400
機械装置及び運搬具(純額)	834	762
土地	2,128	2,128
リース資産(純額)	193	316
建設仮勘定	19	3
その他(純額)	328	315
有形固定資産合計	5,987	5,926
無形固定資産		
のれん	162	146
その他	242	219
無形固定資産合計	405	366
投資その他の資産		
投資有価証券	142	142
繰延税金資産	752	793
退職給付に係る資産	247	248
その他	130	130
投資その他の資産合計	1,272	1,315
固定資産合計	7,665	7,608
資産合計	28,532	27,559

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,428	3,989
電子記録債務	257	220
短期借入金	100	100
未払金	919	1,027
未払費用	837	791
未払法人税等	195	77
賞与引当金	617	322
製品保証引当金	84	78
受注損失引当金	14	4
その他	524	658
流動負債合計	7,977	7,270
固定負債		
リース債務	120	172
未払役員退職慰労金	388	388
退職給付に係る負債	43	44
その他	49	49
固定負債合計	601	654
負債合計	8,579	7,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2,698	2,698
利益剰余金	15,000	14,839
自己株式	△849	△849
株主資本合計	19,623	19,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	50
為替換算調整勘定	185	49
退職給付に係る調整累計額	92	71
その他の包括利益累計額合計	328	171
純資産合計	19,952	19,634
負債純資産合計	28,532	27,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,852	5,887
売上原価	4,191	4,640
売上総利益	1,660	1,246
販売費及び一般管理費	1,106	1,107
営業利益	553	139
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	3	3
受取賃貸料	4	3
補助金収入	4	0
デリバティブ評価益	—	17
為替差益	9	—
その他	4	5
営業外収益合計	29	33
営業外費用		
支払利息	0	2
支払手数料	2	2
デリバティブ評価損	11	—
為替差損	—	48
その他	2	3
営業外費用合計	17	57
経常利益	565	115
税金等調整前四半期純利益	565	115
法人税、住民税及び事業税	92	58
法人税等調整額	82	△13
法人税等合計	174	45
四半期純利益	390	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	390	70

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	390	70
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△1
為替換算調整勘定	14	△135
退職給付に係る調整額	3	△20
その他の包括利益合計	14	△156
四半期包括利益	405	△86
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405	△86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である、三社電機(上海)有限公司、三社電機(広東)有限公司、東莞伊斯丹電子有限公司は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、より適切な経営情報の把握を行うため、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,691	4,160	5,852	—	5,852
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,691	4,160	5,852	—	5,852
セグメント利益	201	351	553	—	553

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,590	4,296	5,887	—	5,887
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,590	4,296	5,887	—	5,887
セグメント利益又は損失 (△)	△4	144	139	—	139

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。